

1 にぎわいの場の創造

三条市では平成 37 年までに人口は約1割減って9万人余り*となり、そのうち 65 歳以上の高齢者が占める割合は、平成 22 年の 26.2% から 34.5% まで上昇すると推計されています。社会の在り方が大きく変わっていく中で、高齢者の健康維持や社会参加など、現状を正しく捉え、高齢者の活躍の場を創造していく必要があります。

誰もが生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けるためには、外出し、歩くことが楽しみになるようなまちづくりが重要です。高齢になると身体機能が低下し、外出の機会が減少する傾向にあります。まずは、家の外に出て自分の足で歩く機会を増やし、地域活動に参加するきっかけをつくる必要があります。

(※国立社会保障・人口問題研究所推計値)

- 1 にぎわいの場の創造
- 2 意欲や能力に応じた社会参画機会の創出



三条マルシェ

【主要施策1】にぎわいイベントの推進
市街地の既存の資源を活用し、歩きたくなる道路空間の整備や人と人との交流を誘発するような集いの場・にぎわいの場を創出するイベントの開催に努めます。

【主な取組】
・三条マルシェ（地域経営課）
・さんじょう 108appy 事業（生涯学習課・地域経営課）

推進計画の指標（ものさし）と目標値		
指標	現状値（H26）	目標値（H34）
三条マルシェの来場者数	208,000 人	230,000 人
さんじょう108appy事業の参加者数	410 人	10,000 人



**【主要施策2】 学習成果の発表による
にぎわいの創出**

市民が学んだ成果を発表する機会を通して、より多くの市民が学習への意欲を高め、また、より多くの市民から足を運んでもらえるよう、発表機会を「人が集まる場・にぎわいの場」と捉え、発表機会の充実を図ります。

【主な取組】

- ・まちなかがにぎわう事業の実施（生涯学習課）
（まちなか文化祭、地区公民館作品展・文化祭）

中央公民館 まちなか文化祭

推進計画の指標（ものさし）と目標値

指標	現状値 (H26)	目標値 (H34)
公民館発表事業等への来場者数	20,095 人	25,000 人

ゾーン30オープニングイベント



**【主要施策3】 外出を容易にする
ための環境づくり**

街に出て買い物を楽しんだり、まちを散歩したりするなど、歩くことを楽しむためには、安心して外出できる環境づくりが必要です。

そのためには、高齢者等が交通事故に遭わないよう交通安全教室等を充実させるとともに、利便性の高い公共交通の維持に努めます。

【主な取組】

- ・交通安全教室の開催（環境課）
- ・交通安全啓発活動の推進（環境課）
- ・デマンド交通の運行（環境課）

推進計画の指標（ものさし）と目標値

指標	現状値 (H26)	目標値 (H34)
高齢者事故発生件数	145 件	130 件
公共交通利用者数	101,857 人	124,040 人

2 意欲や能力に応じた社会参画機会の創出

高齢者が生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けるためには、健康寿命の延伸はもちろんのこと、日々の生活の満足度を高めていくことが大切です。

平成25年度に実施した「高齢者実態調査」では、約8割の方が生活に充実感があると答えています。

その一方で、更なる充実感を得るために様々な活動をしたいと約5割の方が答えているものの、実際に活動している割合は3割弱であり、高齢者の社会参画意欲を活動へとつなげる仕組みが整っていないことが課題となっています。こうした高齢者の意欲や能力等を活動に結び付け、社会で活躍できる環境を整えていくことで、個々の人生を更に豊かにし、高齢者が長寿社会における重要な担い手となり得る地域社会を形成していくことが必要となってきます。

1 にぎわいの場の創造

2 意欲や能力に応じた社会参画機会の創出



大島公民館 ことぶき学級

【主要施策1】

交流を通じた活躍の場の創出

元気な高齢者がこれまでの学習活動を通して得た知識や技術を、循環型生涯学習を通して地域に還元する中で、意欲や能力を最大限に発揮できる活躍の場を創出し、人と人とのつながり、世代間の交流などによる「生きがい・やりがい」を常に持ち続けられるような取組を推進します。

【主な取組】

- ・高齢者の力を生かした循環型生涯学習の推進
(生涯学習課)
- ・地域交流施設を活用した世代間交流事業の実施
(生涯学習課)
- ・地域デビューセミナーの実施
(高齢介護課・生涯学習課)

推進計画の指標(ものさし)と目標値

指標	現状値(H26)	目標値(H34)
意欲ある高齢者の社会参画活動割合	26%	50%以上

【主要施策2】 生きがい活動の推進

高齢者がこれまでの豊富な知識や経験を生かしなが
ら生きがいをもって暮らせるよう、関係機関などと
連携し、自分の得意分野を生かした活動のできる生き
がい・就業の場の拡大を図ります。

【主な取組】

- ・健幸マイレージ「元気はつらつボランティアスタンプ」
事業（高齢介護課）
- ・シルバー元気プロジェクトの充実（高齢介護課）

推進計画の指標（ものさし）と目標値

指標	現状値 (H26)	目標値 (H34)
60歳以上のボランティア活動者数	1,520 人	1,760 人
シルバー人材センター等の年間延就業者数	108,500 人	114,100 人

【主要施策3】 高齢者の学習機会の充実

元気な高齢者が、地域社会の担い手として活躍する
ため、自らの潜在意識や活動意欲を引き出すことが
できる学習機会の充実に努めます。

【主な取組】

- ・生活課題や地域課題に向き合った学習機会の提供
（生涯学習課）
- ・高齢者を対象とした各種教室講座等の開催
（生涯学習課）
- ・図書館各種読書会の実施（生涯学習課）

推進計画の指標（ものさし）と目標値

指標	現状値 (H26)	目標値 (H34)
高齢者事業の参加者数	752 人	1,000 人
各種読書会登録団体数	23 団体	23 団体以上